



金融マンの目で見、識る資料

平成19年度上期 (19年4月～19年9月)
大阪地方裁判所 競売物件[開札]分析

NO.1 開札物件編

平成19年12月

NO.1 開札物件編 19年12月

不動産金融のシンクタンク
株式会社 三友システムアプレイザル
不動産金融研究所

SANYU SYSTEM RESEARCH INSTITUTE (SSRI)

TEL 03-5213-9750

FAX 03-5213-9760

このレポートは地方裁判所が公表した情報に基づいて作成しております。件数、期日、金額等については、現時点のデータと差異がある場合がございますのでご注意ください。また、注意して読んでいただきたい項目については、弊社小冊子「レポートの見方」もございますので、ご希望の方は上記までお申出下さい。

大阪地方裁判所（堺支部、岸和田支部を除く）で、平成 19 年度上期（平成 19 年 4 月～19 年 9 月）に開札期日が到来した物件の分析を行った。開札期日到来物件件数なので、地裁の発表する競売申立受理件数とは異なる。

物 件 動 向

I 開札件数の推移

☆ 前期比大幅減少。減少傾向続きピーク時の 1/3 の水準。

- ・ H19/上期の開札件数は 1,090 件で、前期 (H18/下期) に比べ大幅減少となった (▲307 件、▲22.0%)。

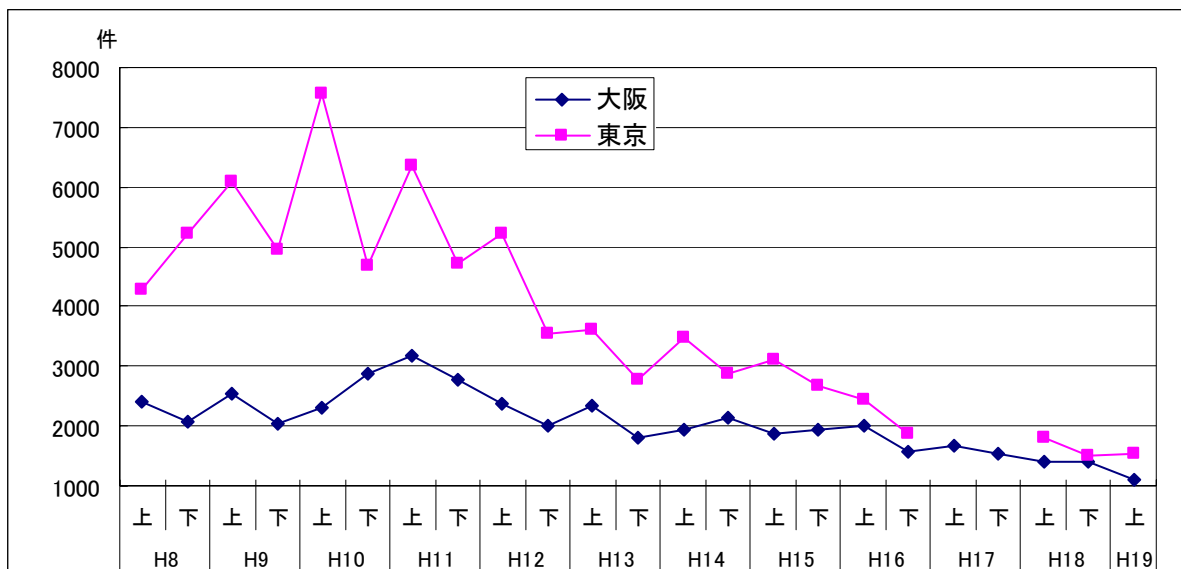
[第 1 表] 月別開札件数表

17/上	件数	17/下	件数	18/上	件数	18/下	件数	19/上	件数
17年 4月	295	17年10月	275	18年 4月	246	18年10月	258	19年 4月	127
5月	255	11月	205	5月	232	11月	279	5月	164
6月	299	12月	234	6月	216	12月	233	6月	240
7月	303	18年 1月	320	7月	265	19年 1月	222	7月	198
8月	257	2月	277	8月	232	2月	154	8月	215
9月	252	3月	213	9月	201	3月	251	9月	146
合計	1,661	合計	1,524	合計	1,392	合計	1,397	合計	1,090

- ・ 統計を取り始めた H8 以来の期別開札件数は、H11/上期がピークで 3,174 件。H15～16 年頃は 2,000 件前後で推移。更に期を追う毎に減少し、H19/上期は 1,090 件とピークのほぼ 3 分の 1 の水準まで減少している。
- ・ H13 年頃までにバブル期物件が出尽くし大幅減少、その後の景気回復・倒産件数の減少等から横這いしないし微減で推移。直近期の減少は地価上昇に伴う不動産流通の活発化による任意売買の増加が要因と考えられる。

《参考：東京…ピーク H10/上期：7,552 件、H19/上期：1,548 件》

〈第 1 図〉 期別開札件数推移



注) 東京の 17 年度数値は入手できず。